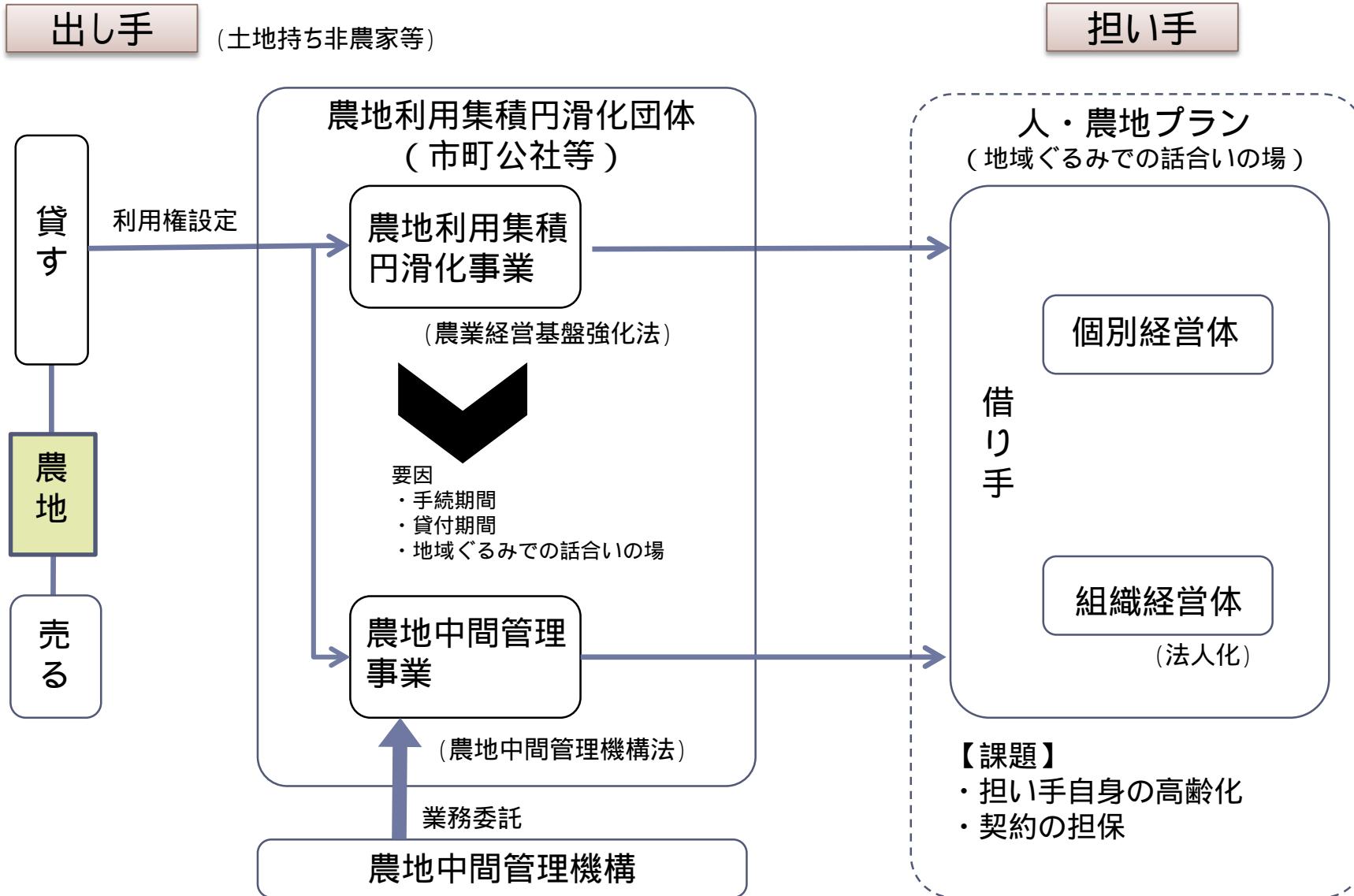


扱い手への農地集積・集約化の現状と課題



担い手の確保・育成をめぐる課題

担い手自身の高齢化が進むなかで個別経営の限界

【事例 (H町)】

大規模農家(家族経営)の後継者が急死。

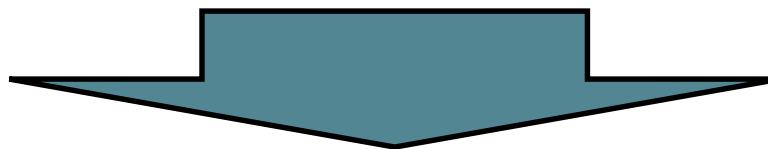
後継者の妻が農地を相続するも、将来的な経営に不安感。

【事例 (S町)】

大規模農家(夫婦の家族経営)で夫が急死。後継者不在で離農。

【事例 (M市)】

単一の大規模経営(家族経営)が地域を担っており、他に担い手は皆無。もし経営者に不測の事態があったら……。



【契約の担保】

農業経営の組織化・法人化等、安定的な農業経営の育成が重要

担い手の確保・育成をめぐる課題

農業経営の法人化の推進上の課題

農業経営の組織化や法人化の動機づけ

収益性を確保する経営ビジョンの普及促進 等

法人の経営支援が十分ではない

農業の法人経営をサポートする専門家の確保

法人経営に参加できるマンパワーが不在

(とくに中山間地域 等)